



市立札幌旭丘高等学校
学校案内

2026

[単位制による全日制課程]

募集人員 ● 普通科: 240名(40名×6クラス) / 数理データサイエンス科: 80名(40名×2クラス)

SAPPORO ASAHIGAOKA

来たれ！この坂に

市民の期待（スクール・ミッション）

- 未来社会を切り拓くための知識や技能、学び方を習得し、それらを自らの生き方や社会に活かす力を育成する学びの場
- 高く理想を掲げ、豊かな見識や感性、科学的な見方により、他者と協働して社会の発展に貢献できる人材を育成する学びの場

学校長 尾崎 茂樹

旭丘は、一人でも多くの未来を生きる若者に、高校で学ぶ機会を保障したいという、地域の保護者をはじめとした市民の熱い運動の末、1958年に、札幌市立初の全日制普通科高校として誕生しました。以来、市民の期待に応える「格調の高い学問の場所」として、教師も生徒も一体となってハイレベルの探究的な学びを展開し、60年以上にわたり、一貫して、社会の発展に貢献する有為な卒業生を輩出してきました。

この間、時代の変化とともに、市民の高校に対する期待も多様化する中、創立40周年を迎えた1998年には、自らの使命を改めて問い直し、「自主・自立」の精神の下、現状に甘んじることなく、常に一步先を目指して挑戦し続ける旭丘生の精神的支柱として、道しるべ「この坂 越えん」を制定しました。

一方、これら不変の理念を支える学びの環境やシステムについては、時代を先取りする大胆な改革に取り組み、常識を覆すオープン型新校舎を建設するとともに、2004年、道内初の「進学重視型単位制」へと移行しました。単位制とは、自らの意思で、アラカルト的に学びをコーディネートすることを特徴としたシステムであり、学年制という定食的な学びに飽き足りない個性をもった若者にとっては、魅力的な選択肢となりました。そんな旭丘生は、実に個性豊かで、興味・関心の幅も多様です。与えられるものをじっと待つのではなく、常に、自ら一步前に踏み出し、自分に必要なものや欲しいものをつかみ取っていく学校生活を送っています。

2022年には、数理データサイエンス科を新設し、翌年の2023年には文部科学省よりSSHの指定を受け、より幅の広い若者の個性を受け止めるとともに、次なる未来社会Society 5.0に求められる人材育成にも応えうる学校へとさらなる進化を遂げています。

そう、ガオカは、普通の高校生活ではなく、唯一無二の私自身の高校生活を送ることができる学校なのです。このガオカに憧れを持ち、この坂を越えた景色を見たいと思っている若者よ「来たれ この坂に」

学校教育目標

生徒の自主・自立を支援し、生涯にわたって学び続け、社会に貢献する人間の育成を目指す

【育てたい生徒像】

- (1) 獲得した知識や技能を活用し、論理的・科学的考察によって真理を探究する生徒
- (2) 高い志を持ち、文化を創造し社会に貢献する意識を持つ生徒
- (3) 心身の健康を維持増進し、活力ある生活を送る生徒



スクール・ポリシー

このような生徒を求めています（アドミッション・ポリシー）

普通科

単位制の趣旨を理解し、本校で学ぶとする確かな理由を有し、次の要件を全て満たす生徒

- 1 知的好奇心にあふれ、本校での学校生活全般に高い意欲を有する生徒
- 2 社会性や責任感を伴った、積極的・主体的な行動力を身に付けることを目指す生徒
- 3 豊かな発想力を持ち、高校で身に付けた資質・能力を活かして、社会・世界で活躍することを旨とする生徒

数理データサイエンス科

数理データサイエンス科の理念を理解し、本校で学ぶとする確かな理由を有し、次の要件を全て満たす生徒

- 1 知的好奇心にあふれ、科学への関心が高く、将来にわたり探究し続けることを目指す生徒
- 2 理数分野を中心とした幅広い教養と情報活用能力を身に付け、札幌や世界の諸課題に取り組もうとする生徒
- 3 未知の分野に果敢に挑戦する気概を持ち、仲間とともに未来志向の議論や発信をする意欲を有する生徒

何をどのように学ぶか？【カリキュラム・ポリシー】

- 1 生徒の興味・関心や進路希望に柔軟に対応した単位制教育課程の編成と実施
- 2 生徒の理解度や習熟度にきめ細かく対応した単位制教育課程の編成と実施
- 3 生徒の主体的・意欲的な探究活動を促し、「自主・自立」を育てる単位制教育課程の編成と実施

何ができるようになるか？【グラデュエーション・ポリシー】

- 1 前に踏み出す力
 - ・主体性-自身の考えに基づき、「判断・行動する力」を身に付けます
 - ・探究心-高い志を持ち、「学び続ける力」を養います
 - ・貢献心-高く理想を掲げ、社会で「役に立ちたい」気持ちを育みます
- 2 考え抜く力
 - ・思考力-物事を多角的に捉え、「気付き力」を鍛えます
 - ・創造力-常識にとらわれない発想や工夫で、「新しい価値を生み出す力」を鍛えます
 - ・想像力-いろいろな視点から具体的にイメージし、「表現する力」を鍛えます
- 3 チームワーク
 - ・協働性-発信力・傾聴力を磨き、「力を合わせてともに活動する力」を身に付けます
 - ・しなやかさ-困難に負けない弾力のある「心」や仲間と喜び合える豊かな「心」を育みます
- 4 全ての基礎となる心身の健康
 - ・健やかさ-自己を確立し、心身ともに健康的な生活を送る態度を育みます

沿革

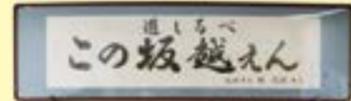
1958

母の願い・市民運動の末に開校



1998

創立40周年を機に道しるべ制定



校舎へとつながる「坂」をキーワードとし、本校の理念を体現するための日常生活の指針、ひいては人生を生きる上での精神的支柱として、在学中はもとより卒業後も永く心に生き続ける言葉です。

2004

道内初、進学重視型単位制へ移行

単位制とは、学年ごとに決められた教育課程ではなく、自らの興味・関心や進路希望に応じて授業を選択できる柔軟なシステム。大学進学がゴールではなく、生涯にわたって主体的に学び続ける資質・能力の育成を大切にしています。

2022

数理データサイエンス科新設

来るべき未来社会Society 5.0では、様々な分野でビッグデータを活用して活躍するデータサイエンティストが求められています。このような社会の要請に応え、高校時代にハイレベルの理数と情報を中心に学ぶ理数系の専門学科として新設。

2023

文部科学省よりSSH校へ指定

SSH指定校では、未来社会を牽引する科学技術人材の育成が期待されています。本校は、数理データサイエンス教育と各教科が連携した課題探究的な学習に、普通科も含め、全ての生徒が取り組むことで、社会に貢献する人材を育成します。

2024

姉妹校提携

2024年12月20日にタイ王国ピッサヌローク州の理数教育を重視する王女立の全寮制中高一貫校である、プリンセス・チュラポー・サイエンス・ハイスクール・ピッサヌローク校とMOU(国際交流協定)を締結しました。



Princess Chulabhorn Science High School Phitsanulok



SSH指定校では、各校で作成した計画に基づき、独自のカリキュラムによる授業の展開や、大学・研究機関との連携による授業、地域の特色を活かした課題研究などに積極的に取り組み、普段の高校生活では出会えない人との出会い、交流、研修による体験、発表等を行っています。

SSH (スーパーサイエンスハイスクール) とは

高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育むための取組を推進します。また創造性、独創性を高める指導方法、教材の開発等の取組を実施します。(令和5年度は全国で218校)

本校の取組 …昨年SSH校に指定され、今年で2年目になります。

目的: Society 5.0時代をリードする「情報活用力」と理数分野を中心とした幅広い教養を併せ持つ人材を育成する。

1. 課題研究、探究的な学習活動: SDS基礎・SDS探究・SDS発展 (数理データサイエンス科)
2. 理科・数学に重点を置いたカリキュラムの開発: 理数理科・SS統計学等 (数理データサイエンス科)
3. 大学や企業、研究機関等と連携した先進的な理数教育: サイエンスアカデミー・道外研修
4. 国際性を育てるために英語でのポスター発表等: 海外研修
5. 各種発表会

令和5～6年度の取組

課題研究

SDS基礎 | 数理データサイエンス科1年次

前期では、実際にオープンデータを取り扱った活動を通じて、データの収集や見方、加工方法の基礎を学びます。後期では、データサイエンスの基礎とPPDACサイクルを身に付け、課題発見力・データ収集力・データ分析力を習得します。



SDS探究 | 数理データサイエンス科2年次

「SDS基礎」で培った基礎力を活用し、自分たちの主体的興味・関心から進める課題探究を通じて、「気づき力」「思考する力」「発信する力」を伸ばします。令和5年度は全17グループが大学・博物館・企業の専門家と接触し連携し、探究活動を楽しんでいました。



学校設定科目

学校設定科目「SS統計学」数理データサイエンス科2年次

「SDS探究」において必要とされる統計的な課題分析力や課題考察力を効果的に育成するために設定した本校オリジナル科目です。統計の知識・技能を活用しながら効果的に課題分析力や課題考察力を高めめます。



▲「SS統計学」では40名の生徒を4名の教員でチームティーチングしています

学校設定科目「理数理科」数理データサイエンス科1年次

物理・化学・生物・地学の科目横断的な学習を、データサイエンスの手法を取り入れながら行うことで、俯瞰的視点で自然科学を捉え理解する力を育成します。写真は、昨年度行われた理数理科の授業の1コマです。



▲大阪教育大学科学教育センター 仲矢史雄教授による特別授業

各種発表会

探究チャレンジ・ジャパン (2024.2.1/北海道大学)

▶札幌市長賞



札幌市長賞は、5つの評価項目のうち「課題の設定」に関して最も高評価だった発表に贈られる賞です。

研究テーマ「Chat GPTの性能確認」

第12回 高校・高専気象観測機器コンテスト (2023.12.16/千葉県船橋市)

▶新人賞

2次審査を通過した42チームから7チームに贈られた賞の1つです。



研究テーマ「ゆきらく」

～電気熱量式積雪含水率を含む雪質の測定を用いた雪かき予測所要時間通知システムの作成

2023年12/6 (水) 研究成果発表会 【SDS探究オールセッション (2年次)】



DS科の1、2年次生徒に加え、研究に関わって頂いた専門家の方、北海道大学のTAの方、中学校の先生、保護者の方々が参加してくださいました。

2023年12/6 (水) 研究成果発表会 【さっぽろ探究ポスターセッション (1年次)】



「さっぽろ探究」とは札幌を題材に、オープンデータを活用して、情報の収集・分析・考察・発表を行い、データサイエンスの基礎力を養う学習活動です。

海外研修

令和6年度は数理データサイエンス科2年次を対象に「タイ・日本高校生ICTフェア2024」、数理データサイエンス科3年次を対象に「台湾研修」実施

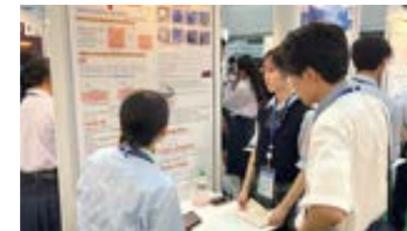
TJ-SIF2024 (タイ・日本高校生サイエンスフェア2024) に参加しました

TJ-SIF(Thailand-Japan Student ICT Fair)はタイ王妃の誕生日を記念し、日本とタイの若い研究者たちに学術交流の機会を提供することを目的として開催された大規模な高校生サイエンスフェアです。

令和6年12月20日～22日にタイで開催されました。日本からはタイ国から招待された高校と高等専門学校の生徒と教員が参加しました。

ポスター発表や口頭発表を通し、両国の生徒たちによる活発な交流が行われました。参加した生徒からは、英語で協力しながらサイエンスを学べたことがとても刺激的だった、また参加したい、等の感想が聞かれました。

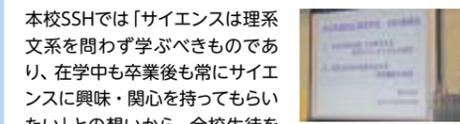
課題研究の発表だけでなく、サイエンスアクティビティやフィールドトリップ、天体観測などを通し、実践的な英語力を養うことができました。



大学や企業、研究機関等との連携

令和6年度 SSH講演会

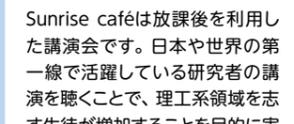
講師: 法政大学経済学部物理研究室教授 藤田貴崇氏



▲「科学ジャーナリズムの世界」「科学翻訳の世界」の講演

令和6年度 第2回 Sunrise café

講師: 大阪教育大学科学教育センター 仲矢史雄氏



▲モデル構築教材「Black Box」を使ったワークショップ

道外研修

※道外研修の時期・研修先は今後変更となる場合があります。

SSH道外研修「つくばプログラム」R5.8.9～11 R6.8.4～8

令和5年度は、国立科学博物館、榊花王小田原研究所、千葉工業大学fuRo、JAXA筑波宇宙センター、地質標本館を訪問し、最先端の研究の現場を実際に体験し、研究者と触れあうことで科学や科学技術に関する興味・関心を深めました。



▲JAXA筑波宇宙センターにて撮影

SSH道外研修「屋久島プログラム」R5.11.30～12.3 R6.11.28～12.1

令和5年度は、国立水俣病総合研究センター、JAXA種子島宇宙センター、往復10時間の縄文杉トレッキング、屋久島世界遺産センターを訪問し、自然環境保全の重要性を再認識するとともに、環境問題に関する科学的知見を一層深めました。



▲屋久島にて撮影

国際交流プログラム

多様性に触れ、視野を地球レベルに広げよう

旭丘では語学力の向上のみならず、視野を広げ地球規模で活躍できる人材になることを願って国際交流プログラムを実施しています。2004年に始まったアメリカ合衆国ジョージア州アトランタにあるホーリー・イノセンツ・エピスコパル校 (HIES) との「姉妹校交流」と「海外語学研修」のプログラムを交互に隔年で実施しています。また札幌市立高校共通のプログラムとしてアメリカ合衆国オレゴン州ポートランド市にあるグラント高校との交流プログラムを毎年実施してきました。令和5年度からプログラムを再開しています。

■ 姉妹校交流

2003年3月28日、HIESと本校の間でインターネットを通じたテレビ会議で姉妹校交流協定に調印し提携が実現しました。2004年1月、校内選考を経た12名の生徒と引率教員2名が本校初の訪問団としてHIESを訪れました。以後20年間、相互訪問は続き友情を着実に育んできました。訪問した生徒はパディ (パートナー) 宅にホームステイをしながらアメリカの生活に触れ、学校生活を体験します。またHIESの生徒は7月に本校を訪れ、授業に参加するとともにクラスの一員となって旭丘祭に参加しています。

■ 語学研修

本校では2005年から隔年で語学研修を実施してきました。2017年1月の第7回研修まではオーストラリアで行ってきましたが、2019年1月の第8回研修は訪問地をイギリスのケンブリッジ・ロンドンに変更しました。語学研修は一層深化し、世界19カ国の高校生と教室を共にし議論をしてきました。またケンブリッジ大学の学生・大学院生、在英日本人研究者との交流も行いました。

■ ポートランド市グラント高校交流 (札幌市立高校共通事業)

ポートランド市グラント高校は、日本語で教科の授業を行うイメージオン教育を実施しています。毎年7月上旬、2名から8名の生徒が来校し授業に参加します。3月には校内選考を経た2名程度の生徒が現地を訪れグラント校の授業に加わります。アメリカの文化を体験し自国の文化を捉えなおす貴重な経験となります。



令和5年度の交流の様子 7月4日～7日にHIESの教師と生徒が本校に滞在しました。



何を学ぶか・どのように学ぶか

普通科

単位制カリキュラム

基礎・基本を身に付ける科目

学んだことを深化させる科目

専門的な研究に対応した特色ある科目

● 1年次

基礎・基本を重視した必履修必修科目を中心とした学習に取り組みます。入学時に選択する芸術科目以外は、全員が同じ科目の授業を受講し、学習習慣をしっかりと確立します。

● 2年次・3年次

本校では皆さんの多様な興味・関心や進路希望実現に応えるために多くの選択科目を用意しています。ガイダンス担任・ゼミ担任のサポートを受けながら自分で受講講座を選択していきます。生徒自身が自分をしっかり見つけ、各教科・科目を自分に合ったバランスで学習できるようサポートします。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
1年次	現代の国語		言語文化				歴史総合		公民		数学I		数学A		化学基礎		生物基礎		体育		保健	書美音	道術楽	I	I	I	英語I		論理・表現I		情報I		総合的な探究	L	
単位数	2		3				3		2		4		2		2		2		2		1	2				4		2		2		1		H	

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
2年次	地理総合		地物基礎			体育		保健	家庭基礎		論理国語		古典探究				英語II																		総合的な探究	L
単位数	2		2			2		1	2																										H	

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
3年次		体育							英語III																										総合的な探究	L
単位数		3																																	H	

■ 時間割の例

普通科2年 Aさん



私には小学生の頃から医師として病に苦しむ小さな子どもたちを助けたいという夢があり、医学部への進学を志望しています。理科は「生物基礎」はもちろん、2年次から「生物」「化学」を履修して、より専門的で深い内容を学習しています。また「数学II」「数学B」ではレベルの高い問題までを扱う応用クラスの授業で数学の力を積極的に伸ばし、3年次では「数学III」を履修予定です。

	月	火	水	木	金
1校時	物理基礎	SS数学II	SS数学II	地理総合	英語コミュニケーションII
2校時	SS数学II	SS物理	SS数学B	世界史探究	論理国語
3校時	保健	家庭基礎	論理・表現II	古典探究	体育
4校時	古典探究	家庭基礎	古典探究	英語コミュニケーションII	体育
5校時	英語コミュニケーションII	英語コミュニケーションII	SS化学	SS数学II	SS化学
6校時	論理・表現II	古典探究	論理国語	物理基礎	SS物理
7校時	世界史探究	地理総合	LHR	文化ゼミ	SS数学B

「自主・自立」サポート①

■ 二人担任制

旭丘では「二人担任制」を取り入れています。生徒20名を1人の担任が受け持つことで生徒一人一人に対するきめ細やかな対応を実現しています。

1年次 ガイダンス担任

生徒の学習目標、科目選択、個人課題研究、そして進路決定にいたるまで、支援体制が確立されています。各年次ともに年間4回以上ガイダンスを通して生徒の「主体性」や「意欲」を高めていきます。

2・3年次 ゼミ担任

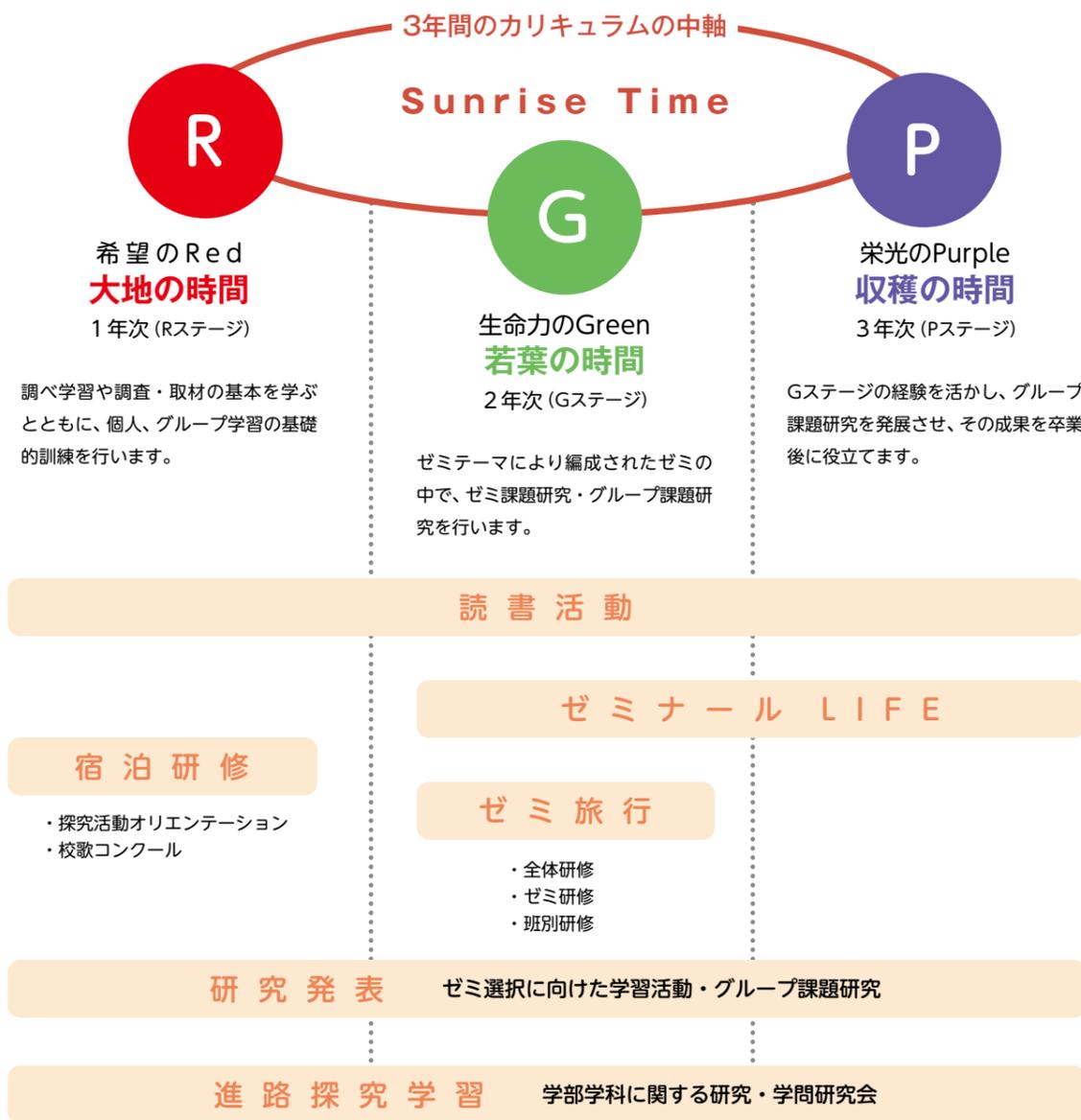
2、3年次のHRは「ゼミ」の集団で構成され、ゼミ担任は生徒20名を支援していきます。1年次同様に各種ガイダンスを行います。

総合的な探究の時間「Sunrise Time」とは？

旭丘高校普通科では「総合的な探究の時間」を「Sunrise Time」(通称ST)と呼んでいます。この名称には、本校の校歌の一節「昇る朝日の力あり」にちなみ、朝日のように輝いて明るい未来を照らし出す、そんな力を身につけてほしいという願いが込められています。

「総合的な探究の時間」は、探究の見方・考え方を通して、自己の在り方・生き方を考えながら、課題を発見し、解決する能力を身につけていくことが主な目標です。

そこで本校の「Sunrise Time」では、実社会や実生活の中で感じた疑問を、専門的な学問への課題と捉え直して、調査・研究をしていきます。また調査・研究の成果を「ゼミ論文」にまとめていきます。「ゼミ論文」を執筆した後は、各ゼミで代表者を決めて1、2年次合同で発表会を行います。



※Sunrise Timeのプログラムは、一部変更になる場合があります。



「スライド発表」
毎年2月頃におこなわれる発表会では、研究成果のプレゼンテーションを行います。グループでの研究内容をことばで伝え、参加者との対話によって考えを深めます。

ゼミナール「LIFE」とは？

「LIFE」には「人生」・「生活」・「生命」・「生き物」などの意味があります。私たちを取り巻くさまざまな「LIFE」の現状や歴史、そして未来のあり方を探りながら学問研究の世界に入っていきます。大学で行われている研究成果などを参考にしながら、グループまたは自分で調査・実験などの資料集めをおこない、論文、プレゼンテーション、ポスターセッションに仕上げっていきます。少人数(20名単位)ゼミ活動からはじまり、各グループでのテーマ研究(「グループ課題研究」)へと発展していきます。



<p>STEP 1 1年次</p> <p>興味・関心から具体的な研究テーマを見つけよう</p> <p>私たちを取り巻くさまざまな「LIFE」の中から具体的な研究テーマを決めます。大学で行われている研究などを参考に、身の回りの世界を「学問」という視点でとらえなおす発想を鍛えます。</p>	<p>STEP 2 2年次</p> <p>選んだテーマに基づきながら「研究の進め方」を体験しよう</p> <p>グループによるゼミ活動を行います。資料を探し、データを集め、仮説を立てて検証し、そして発表するという「研究の進め方」を体験することで、大学に進んでから役立つ力を身につけます。</p>	<p>STEP 3 3年次</p> <p>発想や創造力を大いに発揮しよう</p> <p>2年次で身につけた「研究の進め方」を活用し、発想やアイデアを形にしていきます。難関大学の個別入試に対応できる力はもとより、その先の創造力を身につけます。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

■ゼミ一覧

- コミュニティゼミ (地域・社会を考える)
- 国際ゼミ (戦争と平和・国際交流を考える)
- 経済ゼミ (経済・産業・先端技術を考える)
- 文化ゼミ (人間の社会的・文化的営みを考える)
- サイエンスゼミ (科学・技術と生活を考える)
- いのちゼミ (生命・生き方を考える)
- メディカルゼミ (医療と保健衛生を考える)
- 環境ゼミ (環境と地球を考える)

■研究テーマ例

- 現代の日本語は乱れているのか
- 広告をつくるAIと人間はどう関わる？
- テレワークの普及から考える地方で求められる家
- 「男か女」である前に私達は
- 医療における音楽のあり方

数理データサイエンス科

理数の専門的な授業

理数数学は“数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・A・B・C”が横断的に含まれた科目です。理数理科は、探究的・発展的な内容、実験・演示を多く取り入れた科目で、「理数物理」、「理数化学」、「理数生物」を全員が学びます。

■理数数学



班ごとに発展的なテーマを探究して発表します。この班は「開平方」について取り組みました。「教科書の開平方」に加えて「古代ギリシアの方法」「N乗根」について検証していきます。



数学Ⅰ「データの分析」で標準偏差や分散などを学習した後、Google スプレッドシートを使って統計量の計算にチャレンジします。

■理数物理



熱分野の実験の様子。教科書に載っていない公式を自分達でつくることに挑戦します。仮説を立て、実験をして、作った公式がうまく結果を説明できているのか検証します。



情報の専門的な授業

情報ⅠとSDS(サンライズデータサイエンス)という学校設定科目で、データサイエンスの基礎力や素養を身に付けます。

■SDS基礎(1年次)

オープンデータを題材に、情報の収集・分析・考察・発表を行います。入門編として、札幌市10区の人口ピラミッドを作り、各区の特徴を分析しました。



「さっぽろ探究」では各班がテーマを決め、オープンデータを分析し学校内外で発表しました。



ポスターセッション (in旭丘高校)
「札幌市の桜の開花予測」

北大サイエンスフェスタ (in地下歩行空間)
「ホームゲームと勝利の関係を探る」

探究チャレンジ北海道 (in北大)
「札幌の温暖化とゴキブリ」

カリキュラム

数理データサイエンス科

単位制カリキュラム

- ・1・2年次は、必履修必修得科目を中心とした学習に取り組みます。
- ・専門学科“理数科”の履修科目に準じているため、理数理科3科目×3単位以上、理数理科+理数数学で25単位以上の修得が必要です。
- ・理科、数学、情報の内容が厚く、授業時数も多くなっています。
- ・「サンライズデータサイエンス(SDS)」で、データサイエンスの基本を身に付け、探究的な学習を行います。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
1年次	現代の国語	言語文化	歴史総合	公民					理数数学Ⅰ				理数物理	理数化学	理数生物	体育	保健	書道	美術	音楽				コミュニケーションⅠ	英語	論理・表現Ⅰ	情報Ⅰ	SDS基礎	LHR							
単位数	2	2	2	2					6				2	2	2	2	2	1	2				4		2	2	1	1								

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35					
2年次	地理総合	保健	体育	家庭基礎					理数数学Ⅱ	SS統計学		理数物理	理数生物		理数化学							論理国語	古典探究			コミュニケーションⅡ	英語	選択科目群Ⅰ・Ⅱ	SDS探究	LHR										
単位数	2	1	2	2					5	1		4		4										11単位まで(うち必選択9単位)											2	1				

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35		
3年次	体育			コミュニケーションⅡ	英語			理数化学Ⅰ)	論理国語	古典探究																										SDS発展	LHR
単位数	3																																	1	1		

■時間割の例

数理DS科3年 Sさん



私は将来SE(システムエンジニア)になりたいと考え、情報科学系の大学への進学を目指しています。3年次は、特に理数科目の内容がより深くなるので、知識の習得や技能の習熟を図り、それらを活用する力を伸ばせるよう積極的に取り組んでいます。また、SEの仕事はシステムの開発だけでなく、顧客のニーズを分析することも必要だと知ったので、2年次までに学んだデータサイエンスの基本を応用し、3年次では「SDS発展」での探究活動や「プログラミング演習」にも力を入れています。

	月	火	水	木	金
1校時	英作文探究	理数物理	理数化学	論理国語	英語コミュニケーションⅢ
2校時	古典探究	理数数学Ⅱ	理数物理	理数数学特論	理数物理
3校時	政治・経済	プログラミング演習	英語コミュニケーションⅢ	理数物理	理数化学
4校時	体育	論理国語	理数数学特論	理数物理	プログラミング演習
5校時	理数数学Ⅱ	理数数学特論	理数数学Ⅱ	政治・経済	体育
6校時	理数数学特論	英語コミュニケーションⅢ	英作文探究	英語コミュニケーションⅢ	体育
7校時	理数物理	SDS発展	LHR	古典探究	理数数学Ⅱ

※教科「理数・情報・SDS・SSH」に関わる科目に色を付けています。

「自主・自立」サポート②

■オープンな職員室

旭丘の職員室は壁なしのオープンスペース。すべての教員が常駐しています。勉強や進路について、いつでも質問できます。また保護者の皆さんからの各種相談に応じられる体制をとっています。遠慮なく職員室を訪れてください。



3年間でどんなことを学び、体験するのか

■3年間の流れ～SDSと校外学習～

年	1年次		2年次		3年次	
月	SDS基礎	校外学習	SDS探究	校外学習	SDS発展	校外学習
4		サイエンスアカデミー	研究テーマ発表会	サイエンスアカデミー	論文作成	
5	データサイエンスの基礎	他校の校外学習 (開成中等教育学校など)	研究活動 ※班ごとにテーマを決め 1年間研究する	校外での調査・研究	論文作成	コンクールへ論文出品 ●大学での学びへつなげる 論文作成 ●研究の継承 (下級生/小中学生)
6						
7						
8	さっぽろ探究 ●探究活動 ●プレゼンスキルUP講座 ●プレ発表会	校外発表会 ●サイエンス教育フォーラム in はこだて ●サイエンスフェスタ in チカホ	●プレゼン準備 ●プレ発表会 ●外部への発表	修学旅行(関東方面) 東京国立科学博物館 未来ロボット技術研究センター	大学での学びへの接続 ●総合選抜型入試の対策 ●研究者、研究室調査 ●大学研究 ●推薦書、面接、小論文など	
9						
10						
11						
12						
1						
2	校内発表会		校内発表会	校外発表会		
3	2年次の研究計画		論文作成開始		共通テスト 個別試験(国公立大学・私立大学)	

学校を飛びだした学びの場「サイエンスアカデミー」

■2025 サイエンスアカデミーの講座一覧

タイトル/内容	協力機関
【外来生物を捕獲せよ】 北海道指定外来種「アズマヒキガエル」の生息実態や生態系への影響を学び、捕獲実習を行う。	札幌市環境局など
【サイバーセキュリティを学ぶ】(保護者参加企画) サイバー犯罪やサイバー攻撃の実態とセキュリティの基礎知識を学び、デモンストレーションを見学して理解を深める。	北海道警察 サイバーセキュリティ対策本部
【ゲームを作ろう】(学校祭来場者参加企画) はんだを使って配線をつなぎ「ミンティアケース」サイズのミニゲームを製作しよう。学校祭に来場する小中生向け教室も実施。	NPO法人 NEXTDAY
【室蘭工大ロケットスタディツアー】 室蘭工業大学へ向かい「ロケットの講義」「モデルロケット製作」「ロケット打ち上げ」を体験しよう!	室蘭工業大学 航空宇宙機 システム研究センター 内海政春教授
【私たちがヒグマのこれから】 人間がクマに襲われる事故が全国で頻発している。野生の世界に何が起こっているのかはどのように付き合えばよいのだろうか。	円山動物園 道立総合研究機構 など
【北海道大学訪問～理学部～】 理学部数学科での講義とワークショップ。大学院生から「研究室の生活」や「就職活動」などのお話を聞かせてもらう。	北海道大学理学部 数学科 行木孝夫教授 ほか
【スポーツとデータサイエンス】(他校生参加企画) データサイエンティストに野球データの分析方法を学び、事前課題の分析結果をエスコンフィールドで発表する。	日本ハムファイターズ データアナリスト 井尻哲也氏 ほか
【はこだてスタディツアー】 <1日目> ※(1)か(2)を選んで参加 (1)【はこだて未来大学 プロジェクト学習成果発表会】 大学生の「プロジェクト学習」の成果発表会に参加するコース (2)【北海道大学 水産学部訪問】 水産学部や研究室紹介とミニ実験を行うコース	はこだて未来大学 北海道大学 水産学部
<2日目> ※全員参加 【サイエンス教育フォーラム in はこだて】 北海道・青森県の高校生・高専生が参加する研究成果発表会	
【レバング北海道とスポーツマーケティング】 レバング北海道のマーケティング戦略を学び、高校生ならではのアイデアを提案する。	レバング北海道
【半導体がひらく日本の未来】 「半導体産業」「半導体の理論」について学び、ワークショップでグループワークを行う。	東京エレクトロン 千歳科学技術大学



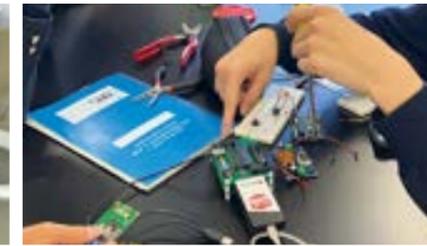
本格的な探究活動

■SDS探究(2年次)

本格的な探究活動は2年次に行います。北海道大学、はこだて未来大学、酪農学園大学、北海道博物館などの専門家からアドバイスを頂きながら、各班が研究しています。



「牛乳から生分解性プラスチックを作る」



「気象観測装置の研究」



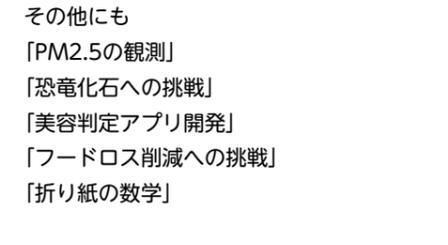
「AIで音楽をつくる」



「ヒグマの出没予測とハザードマップづくり」



「アイヌ語をデータサイエンスする」



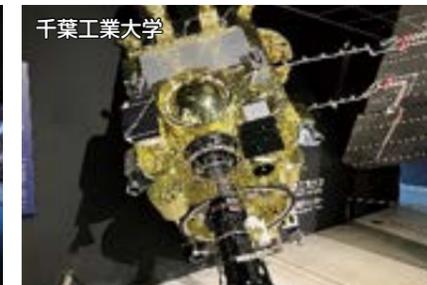
その他にも
「PM2.5の観測」
「恐竜化石への挑戦」
「美容判定アプリ開発」
「フードロス削減への挑戦」
「折り紙の数学」
など多彩な内容で研究を進めています。

数理DS科のゼミ旅行(修学旅行)

【実施】2年次10月・3泊4日 / 【行き先】2026年度より数理DS科は関東方面へ行きます
～現在検討中の訪問先です～



見どころ満点、科学の殿堂



未来ロボットと宇宙開発



デジタルを融合させた没入体験型の美術館



♠ 自主研修の時間もたっぷりあるよ ♠
科学・歴史・文化・芸術・食などを研修するツアーを自分達でつくろう!

スカイツリー
塔体ツアー
高さ日本一の建造物の構造を学ぶ

進路支援プログラム

開校以来、確かな実績があります

旭丘高校では、生徒自身が学びを深めながら、将来について考えるための様々なプログラムを実施しています。2004年、進学重視型単位制を始めたときに、カリキュラムを支える三本の柱を立てました。「進路支援プログラム」はその一番目の柱として総合的な探究の時間 (Sunrise Time)、ゼミナール [LIFE] とともに重要な位置を占めています。

1年次から「学部・学科研究」を通じて進路への意識を高め、「学問研究会」「進学講演会」「進路講演会」などで視野を広げ、自分の将来を深く見つめていきます。



学部・学科研究 (1年次)

文学部・経済学部・医学部・農学部など大学にはさまざまな学部や学科があり、それぞれに特色があります。生徒の「探究学習」を中心にしながら、学問研究への興味・関心を高めるとともに、進路情報誌や大学のホームページを利用し、大学にはどんな学部があるのか？その学部ではどんなことが学べるのか？学問研究への興味・関心を高めます。さらにオープンキャンパスへの参加を通して進路についてのイメージを具体化させ、情報を収集する力を1年次から身につけます。

進路探究学習の取り組み

大学との連携

本校では、北海道大学との高大連携事業を行っています。大学1年生向けの教養科目を希望生徒が受講します。

また、札幌市立高等学校では、札幌市立大学、千歳科学技術大学、小樽商科大学、北海道医療大学、酪農学園大学との高大連携協定を結び、本校の希望生徒も他の札幌市立高校の生徒と一緒に様々な取り組みをしています。いずれも、学びを深める貴重な経験となるはずです。

札幌市立高等学校の共通の進路探究学習の取り組み

キャリア探究学習 (1年次)

地域の企業や団体の協力のもと、高校生が職場を訪問して、実務学習や課題解決学習などを行い、好ましい職業観や社会人に必要な倫理観の形成を支援します。
(令和7年度の内容は未定)

進路探究セミナー (1年次)

市立高校8校の1年生生徒全員が参加し、第一線で活躍する社会人の方の講演のあと、各高校の代表生徒8名がパネリストとなってパネルディスカッションを行います。

学問研究会 (1・2年次)

大学の先生方が本校を訪れ、大学で実際に行われている内容そのままの授業を行います。大学の講義を体験することで「学問とは何か？」という事を深く理解することができます。進学を考えると、単に大学名や偏差値だけではなく「何を学ぶか？」を大切にすること、さらに卒業後の自分の設計図を考えることを目的としています。毎年、全国から約20大学26名の先生をお招きしています。



講習・模試

自身の習得度や課題を把握し、次の学習へ役立てるため、定期的に講習や模擬試験を実施しています。

土曜講習 (1コマ70分)

1年次840分
2年次1,260分
3年次1,680分
実施予定

特ゼミ (3年次)

1・2月 共通テスト
終了後個別学力試験・
私大入試に応じた講習

小論文模試

1年次1回
2年次2回
3年次3回
実施予定

サテライン講習 (代々木ゼミナール)

受験講座の
選択肢のひとつとして
開講予定

長期休業講習 (1コマ70分)

1年次2,170分
2年次2,940分
3年次4,200分
実施予定

校外学力模試

1年次4回
2年次7回
3年次16回
実施予定

アセスメント テスト

学習への興味関心や
学習状況を客観的に
チェック



主な大学の合格者数

過去5カ年(2020～2024年)の難関大学合格者数は以下の通りです。

【国公立大学】

北海道大学	155	京都大学	1	大阪大学	11	名古屋大学	3	東北大学	14
九州大学	1	一橋大学	3	東京工業大学	2	神戸大学	2	筑波大学	9
お茶の水女子大学	1	東京外国語大学	2	東京都立大学	11	東京芸術大学	2	千葉大学	10
横浜国立大学	6	札幌医科大学	36	旭川医科大学	7				

【私立大学】

早稲田大学	11	慶応義塾大学	18	上智大学	2	明治大学	38	青山学院大学	20
立教大学	41	中央大学	56	法政大学	72	学習院大学	5	東京理科大学	38
関西大学	19	関西学院大学	15	同志社大学	19	立命館大学	34		

部活動・外局活動

〈体育系〉

男子バスケットボール部

高校生らしく、ひたむきに努力し、札幌市ベスト8を目標に活動中!

女子バスケットボール部

全道進出を目標に、仲間と日々切磋琢磨して練習に励んでいます。

男子バレーボール部

「応援されるチーム」を目指し、日々活動しています。大会では全道出場を目標として練習しています。

女子バレーボール部

ベスト16を目標に日々練習に取り組んでいます。初心者も経験者も大歓迎です。



男子バドミントン部

週4回の練習を通じて、選手が設定した目的・目標を軸に活動をしています。今年度のスローガンは「学年を越えて、楽しくバドミントンをして、人間性を育む」です。そのため、私たちは何事にも真剣に取り組み、利他の精神で日々を過ごすべく毎日を大切にします。

女子バドミントン部

団体2部昇格やそれぞれ個人の目標に向かって日々頑張っています!



陸上競技部

個々の目標に向かい、全員で日々切磋琢磨しています。未経験者を含め20名以上全道出場を決め、2025年全国大会は4種目4名が出場しました。この坂の上で一緒に練習できるのを楽しみにしています。



スキー部

夏は登山とトレーニングで足腰を鍛え、冬は夏の成果を発揮して基礎スキーに励んでいます。



野球部

今年の夏季大会では全校応援の力もあって北海道大会出場という目標を17年ぶりに果たすことができました。再び全校応援をやってもらえるように、チーム一丸となって頑張ります。



サッカー部

目標としている全道大会出場に向けて、部員全員で力を合わせてたのしく活動しています!



男子テニス部

少ない部員ですが全道出場を目指して楽しく、全力で練習しています!

女子テニス部

全道大会進出を目指して日々練習に取り組んでいます。テニスの楽しさを一緒に知りましょう!



ソフトテニス部

男子全道ベスト8、女子全道ベスト4を目標に日々練習に励んでいます。高校からソフトテニスを始めたい方、中学に引き続き高校でもソフトテニスをしたい方はぜひ入学してください!

弓道部

大会を勝ち進むために、日々努力しています! 部員全員で楽しく力を合わせて活動中です!



卓球部

初心者から経験者まで切磋琢磨しながら全道大会を目指し、練習に取り組んでいます。

剣道部

男女合わせて12人で活動しています。来年こそ、全道大会へ出場できるよう日々稽古に励んでいます!



チアリーディング部

「A.H.C MARINES」です! 全国大会準決勝進出を目標にしながら、みなさんに笑顔や勇気を伝えられるように日々練習に励んでいます!!



〈文化系〉

合唱部

週3回、「短期集中」をモットーに活動中! 全国大会の出場実績も多く、毎年3月には定期演奏会を開催。外部イベントへ出演もあり、年間を通じ沢山の方に演奏を披露しています!!



美術部

高文連への出品を中心として、各々自由に作品を制作しています。やりたいことに取り組みめるとても楽しい部活です!

茶道部

初心者大歓迎! 高校から始めた人がほとんどです。楽しくお作法を学べます。お抹茶とお菓子が好きな方は是非!

書道部

高文連を中心とした各種展覧会の作品製作に向けて日々練習しています! 学校祭ではみんなでひとつの大きな作品を完成させる、書道パフォーマンスを実施しています! 初心者さんや兼部も大歓迎! 一緒に書道やりませんか?

華道部

週に1回、季節の花を使って楽しく活動しています。いけばなは難しいと思われがちですが、講師の先生が優しく教えてくれるので初めてでも大丈夫です! 初心者大歓迎なので、興味がある方はぜひきてください!



サイエンス部

生物班・ロケット班・地学班に分かれて活動しています。生物の世話や大会に向けた研究、ロケットの製作を行っています。全国大会や世界大会を目指し、日々活動しています!



写真部

部員数は15名で各々自由に活動をしています。昨年度は高文連で全道選出の実績もあります。兼部、初心者、カメラがない方でも大歓迎です!

文芸部

毎週水曜日に活動を行っています。自分たちが作った小説・詩・短歌・俳句などを掲載した部誌を編集し、学校祭で配布をしたり、大会へ提出したりしています。

創画部

週1回の活動で、主に学校祭販売用イラストや、定期的な部誌の作成をしています。アニメやゲーム、漫画などの話をしたい方や、イラストを描くことが好きな方、オリジナルグッズを作って販売してみたい方におすすめの部活です。



ボランティア

ボランティアに興味がある方誰でも大歓迎! 不定期活動中! 一緒にボランティアしましょう!

メディア局

メディア局は、パソコンを使って自由な活動をする局です! 様々な大会にも出場し、楽しくゆるい雰囲気でも活動しています!

弁論部

全国大会、全道大会にも複数回出場しています!

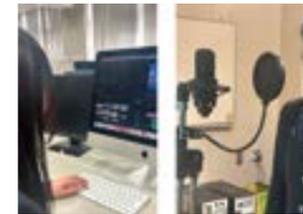


ICC国際交流局

主な活動は英語ディベート大会への参加です。英語スピーチ大会でも多くの部員が全国大会に出場し、実績を残しています。大会がない期間には、映画鑑賞やゲームなどを通じて英語を使いながら、楽しく活動しています。

放送局

大会に向けたドキュメンタリー番組制作、個人ではアナウンス・朗読といった活動を主にしています。機材が好きな方、ものづくりが好きな方、声を活かした活動がしたい方、などなど初心者大歓迎です!



新聞局

社会問題や学校での出来事について取り上げる「旭丘高新聞」と、もっとガオカ生に寄り添った、写真メインの「速報 ハシブトガラ」を発行しています。毎年全道大会に出場しており、昨年は4年連続の優秀賞を受賞しました。今年は全国総文祭にも出場します。

図書局

カウンター業務、ブックカバーかけ、図書館報の発行の他にも、年一回の書店での局員による選書、文化祭での読み聞かせなども行っています。夏は涼しく、冬は暖かい図書館で協力して楽しく活動しています!



創楽部

Macを利用した作曲活動やサイレントスタジオでの楽器練習、外部スタジオでのバンド練習を中心に活動しています。大会や外部でのライブ、定期演奏会、学校祭の有志発表などを目標に各バンド日々邁進しています。

令和6年度 全国大会出場実績

★女子テニス部

・ユニクロ全日本ジュニアテニス選手権 2024

★弓道部

・全国高等学校弓道選抜大会

★チアリーディング部

・JAPAN CUP 2024チアリーディング日本選手権大会
・全日本高等学校選手権大会

★合唱部

・全日本合唱コンクール全国大会

★華道部

・小原流学生いけばな競技会「北海道・東北地区大会」

★書道部

・国際高校生選抜書展
・創玄展学生部門全国学生書道展

★弁論部

・文部科学大臣杯全国青年弁論大会

★サイエンス部

・全国高等学校総合文化祭 自然科学部門研究発表(生物)
・ロケット甲子園2024 決勝大会

★文芸部

・全国高等学校文化連盟 北海道・東北文芸大会 みやぎ大会

★放送局

・NHK杯全国高校放送コンテストならびに校内放送活動研究会
・全国高等学校総合文化祭 放送部門(朗読)

★ICC国際交流局

・全英連全国高等学校英語スピーチコンテスト

★メディア局

・高校生ICTカンファレンス2024 サミット
・全国高等学校AIアスリート選手権大会

★スキー(個人参加)

・宮様スキー大会国際競技会
・JOCジュニアオリンピックカップ 2025全日本ジュニアスキー選手権大会

卒業生の言葉

柴田 麻桜さん 令和7年3月卒業 北海道大学 文学部 在学

私が旭丘高校での学びの中で、大学生活にも通ずると感じたものを二つ紹介します。まずは、総合的な探究の時間です。この授業での1、2年次で各自が研究をして4000字程度の論文を書いて発表をするという経験は、自ら問いを立てる大学の学びに近く、レポートやプレゼンの練習にもなりました。次に、単位制カリキュラムです。大学受験は受験スタイルが多様です。志望校に合わせて講義系や演習系の授業を選択できる点が他校にない旭丘の強みだと思います。

旭丘の魅力は他にも多くあります。学内の大きな窓から見える綺麗な景色には何度も驚きました。文化祭も模擬店やキッチンカー、ステージ発表に花火、と思いが沢山できると思います。多くの卒業生が旭丘の生活を全力で楽しみ、受験も全力で挑んできました。是非、旭丘高校に興味を持っている皆さんにも同じ旭丘の景色を見て頂きたいです。



佐藤 彰さん 令和6年3月卒業 北海道大学 総合理系 在学

私は、旭丘高校で、充実した高校生活を過ごすことができました。旭丘は単位制の学校で、1年次のときに2年次以降の時間割を自分で作るようになります。そのため、早い時期から自分の志望校に必要な科目を自分で調べることで、受験への意識を高めることができ、自分で計画しながら勉強する力が付きました。さらに、勉強に熱心な人が多いので、友達と競い合い教え合ったりすることで楽しく勉強することができました。職員室は廊下と繋がっていてとても開放的で、授業でわからないところがあれば遠慮なく質問しに行っていました。他にも普段の生活での悩みや不安なども気軽に相談できるので、旭丘の職員室はいつも活気にあふれています。

また、旭丘高校は行事も盛んで、特にガオカ祭や体育祭、ゼミ旅行はとても楽しく、最高の思い出を作ることができます。私は市外から通っていて、登校するのに100分以上かかっていましたが、所属していたバドミントン部の活動や日常生活、学校行事がとても楽しかったので3年間通い続ける事が出来ました。また、旭丘高校では授業や学校行事で多くの人と関わることができるので、人としても大きく成長することができます。皆さんも旭丘高校に入学し、充実した高校生活を過ごしてみませんか？



三浦 優衣さん 令和5年3月卒業 小樽商科大学 在学

私の中で高校生活の一番の思い出は部活動でした。皆さんの中にも、高校に入ったら部活動を楽しみたいと思う人もいるかもしれません。しかし部活動は楽しい反面、難しくなる高校の勉強に取り組みながら活動に励まなければいけません。私は合唱部に所属し、全国大会には2度出場しました。文武両道の生活を送ることはたやすくはありませんでしたが、長くて辛いガオカの坂道を越えた先には美しい景色が、今までの努力の成果が出る時にはすがすがしい達成感が待っています。部活動や大学受験に向けた努力が結実したときの充実感は卒業した今でも忘れられません。合唱を練習した日々や大きな舞台上で歌えた経験、全力で勉強に打ち込めた生活は、これからも私にとって大切な思い出です。

また旭丘高校は、開放的な職員室や複数担任制であるため、担任のみならず学校全体の先生と関わりやすい雰囲気があり、進路相談や勉強、部活、個人的なことなどを気兼ねなく相談することで生活の不安を解消することもできます。あの時一生懸命頑張れたことが今では自信につながり、役に立っていると思っています。皆さんもこの旭丘高校で何かに全力を尽くしてみたいかかでしょう。



田邊 一誠さん 令和7年3月卒業 大阪大学 医学部保健学科看護学専攻 在学

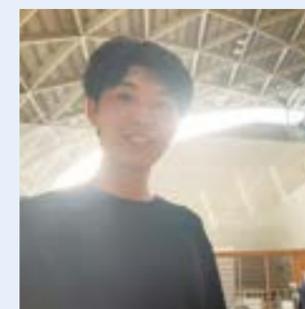
旭丘高校は非常に大学進学を意識した高校であったのだということに、大学に入学してから気づきました。単位制により自らの関心や進路に応じて科目を選択する経験は、大学での履修計画や主体的な学びに直結しています。また、2年次に行われるゼミ論文の執筆では、自ら問いを立て、資料を集め、考察を深めて文章にまとめるということをします。その過程は、まさに大学のレポートや卒論で求められる力の育成そのものだと思います。さらに教室番号すら、大学の講義室番号と同じシステムです。旭丘高校はまるで大学です。そんな旭丘高校ならではの学びを、あなたも体験しませんか？



数理データサイエンス科 1期生

坂田 悠真さん 令和7年3月卒業 慶應義塾大学 環境情報学部 在学

数理DS科は、2クラスと少ない分一体感が生まれ、様々な行事を団結して全力で楽しむことができます。これは日常生活や学習においても大きな利点です。また僕は旭丘高校がSSH認定校であることを活かし、台湾研修や神戸での研究発表会など、価値ある体験や経験を沢山積ませていただきました。これらは実際AO入試の受験に活きましたし、今後のキャリアパス全体に寄与すると思っています。沢山チャレンジしてみたい、高校生活の青春を謳歌したい方には自信をもってお勧めできます。是非、旭丘高校・数理DS科への進学を考えてみてください！



及川 姫奈さん 令和7年3月卒業 金沢大学 理工学域物質化学類 在学

私が卒業した数理データサイエンス科は理系好きが集まっているので、数学やプログラミング、データ分析などわからないことがあれば気軽に友達に相談できるところが魅力だと思います。一番印象に残っている授業はSDS(探究活動)です。私は【風力発電における最適なプロペラの重心】というテーマで研究したのですが、3Dプリンタでプロペラを作成して何度も実験しました。その成果をいくつかの研究発表会で発表し、大学の先生からアドバイスをもらったことは貴重な経験です。また研究論文を理数工学コンテストに出展し、受賞したことは大きな自信になりました。このように理系に必要な知識や経験を多く積めたことが財産になっています。今私は大学で数学や物理、化学、データサイエンスの基礎を学んでいて、数理DS科で得た知識を活用しています。理系志望の皆さんはぜひDS科も受験の選択肢に考えて下さい。そして楽しい高校生活を送りましょう！



神宮寺 華さん 令和6年3月卒業 東京学芸大学 教育学部 A類国際教育選修 在学

大学では、履修登録を全て一から自分で行き、テストやレポート提出の情報も自分で確認する必要があります。高校生活で培った自主自立の精神は、大学生活で大いに役立っています。

また、旭丘高校の廊下とつながっている開放的な職員室は、職員室の入りにくい雰囲気は払拭してくれる素晴らしいものだったと思います。勉強で困った時には、気軽に職員室に入って質問することができますし、先生方も快く対応してくださりました。大学受験においては、科目のサポートだけでなく、面接や小論文の指導をしてくださり、そのおかげで私は第一志望の大学に合格できたのだと思います。

旭丘高校は、学習面でのサポートの手厚さはもちろん、設備も綺麗で、学校祭や体育祭といった行事も大変楽しく、充実した毎日を送れる場所です。これから入学する皆さんが毎日楽しく過ごせることを願っています。



幸坂 優里さん 令和5年3月卒業 長岡造形大学 造形学部 美術工芸学科 在学

旭丘高校は部活動も盛んで多くの人が勉強と部活を両立していました。私は弓道部に所属し、毎日友達と練習に励み、テスト期間には勉強を教え合い、今では日々の生活が大切な思い出です。私は三年生で美術系の進路へ変更し、美術の授業を取り始めました。美大受験にはデッサンなど、勉強以外の準備も必要になります。旭丘高校では単位制を取り入れているため、それぞれの進路や学びたいことに合わせた授業を受けることができます。私は部活を引退した後本格的にデッサンを練習しました。スタートが人より少し遅かったのですが、その度に友達や先生に励まされ、自分のペースで合格までたどり着くことができました。ぜひみなさんも一人一人の希望に寄り添ってくれる旭丘高校で、色々なことに挑戦して充実した高校生活を送って欲しいです。



学校生活

高校では毎日の生活も自分で考え、自分の生活サイクルをつくります。旭丘での1年は充実した多彩な行事に彩られます。さあ、積極的に行動してたくさんの思い出をつくりましょう。

■日課表

	通常日課(50分授業)	短縮日課(45分授業)
SHR	8:30 ~ 8:35	8:30 ~ 8:35
1校時	8:40 ~ 9:30	8:40 ~ 9:25
2校時	9:40 ~ 10:30	9:35 ~ 10:20
3校時	10:40 ~ 11:30	10:30 ~ 11:15
4校時	11:40 ~ 12:30	11:25 ~ 12:10
昼休み	12:30 ~ 13:10	12:10 ~ 12:50
5校時	13:10 ~ 14:00	12:50 ~ 13:35
6校時	14:10 ~ 15:00	13:45 ~ 14:30
7校時	15:10 ~ 16:00	14:40 ~ 15:25
SHR	16:00 ~ 16:05	15:25 ~ 15:30



■制服



TPO(儀式・校内・校外)や季節に合わせて選択できるアイテムが揃っています。

■校舎施設紹介



図書館



CALL教室



ピロティ
(屋内運動場)



体育館



生徒ホール



ラウンジ(個人で使用できるロッカーがあります)



和室

4 Apr. 5 May. 6 Jun. 7 Jul. 8 Aug. 9 Sep.

入学式
始業式
対面式
宿泊研修
健康診断

宿泊研修(1年次)

「旭丘生になろう」を合言葉に、ガイダンス、読書会、クラス対抗校歌コンクールを行います。札幌市内外のいろいろな中学校から入学した生徒たちが、このプログラムを通して仲間の輪を広げます。



生徒総会
高体連大会

定期試験1
開校記念日

旭丘祭
夏休み
夏季講習

旭丘祭(文化祭・体育祭)

高校生活の中で一番思い出に残る行事です。本校では学校祭実行委員会を組織し、生徒自身の手で企画・運営します。力を合わせて創る喜びを実感し主体性や協調性を高めます。



生徒会長選挙

定期試験2
高文連大会
前期終業式
秋休み

10 Oct. 11 Nov. 12 Dec. 1 Jan. 2 Feb. 3 Mar.

後期始業式
ゼミ旅行
生徒総会

ゼミ旅行(2年次)

全体研修のほかに、自主研修やゼミ別行動などを取り入れて、関西方面(京都、奈良、大阪、神戸など)を旅行します。人間的ふれあいを深め、幅広い視野を身につけます。



定期試験3
学問研究会

冬休み
冬季講習

共通テスト
特ゼミ(二次・私大対策)

ST・SDS・SSH
研究発表会
定期試験4

卒業式
体育大会
修了式
春休み
春季講習
目標校宣言(1年次)
志望校宣言(2年次)

Q&A

Q 単位制と学年制は、どのように違うのでしょうか？

A 下の表で比較していただくとよくわかると思います。

	単 位 制	学 年 制
教育課程 (カリキュラム)	・自分で選択した科目を学ぶ。・希望進路に、より細かく対応できる。 ・異なる年次の生徒と一緒に学ぶことがある。	・学年で決められた科目を学ぶ。・コースや一部の科目は選択できる。 ・同じ学年の生徒だけで学ぶ。
時間割	ひとりひとり異なる時間割である。	ほとんど同一の時間割である。
授業	科目ごとに異なる教室へ移動して受けることが多い。	自分の教室で受けることが多い。
進級・卒業	進級という考えはなく卒業までに必要な単位を修得すれば卒業できる。	修得できない科目があると進級・卒業はできない。

Q 授業のある時間に合わせて登校したりすることはできるのでしょうか。

A 落ち着いた学校生活を過ごすために、登校時間帯および下校時間帯は指定されています。登下校時の事故などに迅速に対応するため、事情により遅刻あるいは早退する場合、生徒はガイダンス担任・ゼミ担任の確認を受けて入室もしくは下校となります。欠席する場合も、できるだけ速やかにガイダンス担任やゼミ担任に連絡してください。

Q たくさんの選択科目があるそうですが、自分でうまく選べるのでしょうか？

A 大丈夫です。入学後は、将来を見通した進路設計のために、キャリアガイダンスを行います。また、科目選択については、年間を通じて生徒一人ひとりに、自分自身の生き方と将来の希望進路の探究を通して、具体的なアドバイスをしながら進めていきます。ガイダンス担任やゼミ担任、そして進路支援の先生も相談にのってくれますから、先生方と一緒に考えていけば良いので安心して下さい。

Q 自分で選んだ科目で卒業できるのでしょうか？
また1・2年次にたくさんの単位を取って、2年間で卒業することは可能でしょうか？

A 選択した科目については「受講登録届」を提出してもらいます。卒業できる選び方になっているかどうかを、よく確認してから受け付けますので心配いりません。選択した科目をしっかり勉強していれば、卒業は大丈夫です。また、1・2年次に受けられるだけのすべての授業を受けても、卒業するのに必要な単位数は取れません。3年間の在学期間が必要です。

Q 進路状況はどのようなのでしょうか？

A 現在、かなり多くの生徒が進学を希望していて、3年間の努力の結果多くの生徒が進路希望をかなえています。主体的な科目選択ができる単位制により、いっそう皆さんの希望進路が実現すると確信しています。

Q 経費はいくらかかるのでしょうか？

A 入学料および学校徴収金は、合計で1年次は年間およそ11万円です。それ以外に制服、体育ジャージ、室内運動靴、教科書および副教材などの購入で11万円程度かかります。2年次に行われるゼミ旅行の経費(12万円程度)も別途納入していただきます。なお、授業料(年間12万円程度)については、一定額以上の収入のある家庭以外は負担がありません。これについては、入学時にお知らせいたします。

入学者選抜試験

2026年度入学者選抜試験について

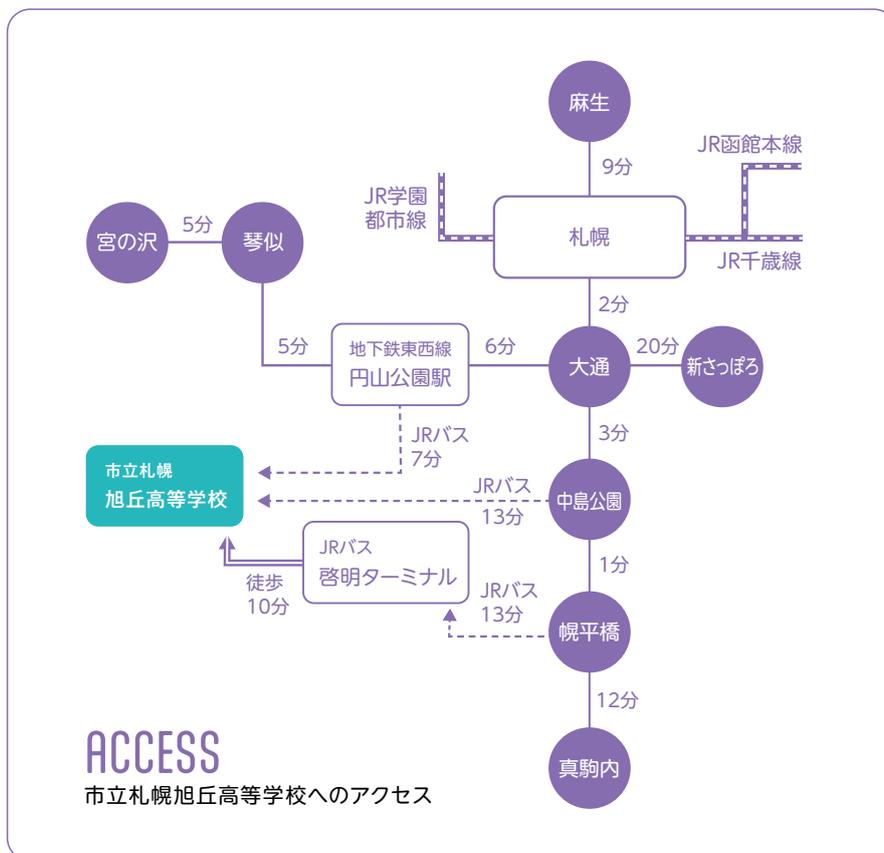
※一般入試では、2つの学科を第1志望・第2志望とすることができます

普通科

■推薦入試 (募集人員240名に対して、20%程度)	◎出願できる者 札幌市内に保護者の住所が存する者(令和8年3月に道内の中学校を卒業見込みの者であること) ◎選抜の方法 以下の1～3の資料を総合的に評価し、合格内定者を決定します。 1) 個人調査書、自己推薦書 2) 面接の結果 3) 適性検査の結果
■一般入試	◎出願できる者 1) 札幌市内に保護者の住所が存する者。 2) 札幌市を除く北海道内に保護者の住所が存する者(募集人員の20%以内) ◎選抜の方法 1) 個人調査書 2) 学力検査の結果

数理データサイエンス科

■推薦入試 (募集人員80名に対して、30%程度)	◎出願できる者 札幌市内に保護者の住所が存する者(令和8年3月に道内の中学校を卒業見込みの者であること) ◎選抜の方法 以下の1～3の資料を総合的に評価し、合格内定者を決定します。 1) 個人調査書、自己推薦書 2) 面接の結果 3) 適性検査の結果
■一般入試	◎出願できる者 1) 札幌市内に保護者の住所が存する者。 2) 札幌市を除く北海道内に保護者の住所が存する者(募集人員の20%以内) ◎選抜の方法 1) 個人調査書 2) 学力検査の結果 尚、次の3教科については、傾斜配点を行い選抜する。 数学2倍、理科2倍、英語1.5倍



Since 1958

市立札幌旭丘高等学校

<https://www.asahigaoka-h.sapporo-c.ed.jp/>

〒064-8535 札幌市中央区旭ヶ丘6丁目5番18号

TEL : (011) 561-1221 FAX : (011) 561-1061

